

1 古代アメリカの比較文明論

<http://dendro.naruto-u.ac.jp/csaac/>

領域略称名： 古代アメリカ文明
 領域番号： 1601
 設定期間： 平成26年度～平成30年度
 領域代表者： 青山 和夫
 所属機関： 茨城大学人文学部

本研究領域は、従来の世界史研究で軽視されてきた中米メソアメリカと南米アンデスという、古代アメリカの二大文明について、考古学、歴史学、文化人類学等の異なる分野の人文科学と自然科学の多様な研究者が連携して新たな視点や手法による共同研究を推進する。つまり古代アメリカ各地の地域・時代毎の特性や詳細な社会変動を通時的に比較研究して、古代アメリカの比較文明論の新たな展開を目指す我が国初の実証的な文理融合の通史研究である。このため、以下の研究項目において、「研究計画」により重点的に研究を推進するとともに、これらに関連して、文明史、文化史、環境史を研究することによって、メソアメリカとアンデスの通時的な比較文明研究に資する研究を公募する。

単年度当たりの応募額700万円を上限とする公募研究については、発掘調査や専門的な機材を必要とする研究、及び遺物・試料の専門的な分析などを対象とする。公募研究では、特に中南米の考古学、公共考古学、環境考古学、動物考古学、考古科学、考古計測学、自然人類学、古環境学、古生態学、火山灰編年学、地形学、第四紀学、地質学、メソアメリカとアンデスの植民地時代に関する歴史学、アンデスとその周辺地域の現代の先住民文化に関する文化人類学、社会学、政治学、経済学、地理学等を中心とする研究課題を歓迎する。

研究項目	応募上限額（単年度）	採択目安件数
A01 古代アメリカ文明の高精度編年体系の確立と環境史復元	700 万円 150 万円	2 件 4 件
A02 メソアメリカ比較文明論		
A03 アンデス比較文明論		
A04 植民地時代から現代の中南米の先住民文化		

（平成27年度公募研究 平均配分額 375万円 最高配分額 610万円）

2 グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて： 関係性中心の融合型人文社会科学の確立

<http://www.shd.chiba-u.jp/glbcrss/>

領域略称名： グローバル関係学
 領域番号： 1801
 設定期間： 平成28年度～平成32年度
 領域代表者： 酒井 啓子
 所属機関： 千葉大学法政経学部

本研究領域では、国家間関係からグローバルな拡大可能性を持つトランスナショナルな関係、小規模の地域共同体での社会関係等、さまざまなレベルと規模の関係性に注目し、その変動性（構成要素や繋がり方の質的・量的変化）、連関性（諸関係どうしの連鎖、相互影響等の動態）、固定化可能性（国家機構や既存システムの中での制度化の度合）等の解明を研究目的とし、グローバルな危機と見なされる現代的諸現象を分析、究極的には国際社会が直面する喫緊の諸課題の解決可能性を探る。

今回の公募では、上記の視点を持った理論研究および実証研究（現地調査重視）で、後者においては本研究領域の各計画研究と強くリンクし補強する内容、又は計画研究で扱っていない地域（東アジア、南北アメリカ、ロシアとその周辺等）を対象とした研究を募集しており、特に、若手研究者からの意欲的な研究に期待する。

テーマとしては、国家体制と社会運動（国家内およびトランスナショナルを含む）の関係性（C01）、地域統合・協力協定（EU、ASEAN、FTAなど）の経済面、社会文化面及び安全保障上の役割と諸国間関係の変化（C02）、グローバルな人の移動（移民、難民等）、技術伝播（SNS等）、思想の伝播（民主化、市民社会、イスラーム主義等）が関係の変動・連関・定着に与える影響（C03）に力点を置く。また、上記の研究目的に沿った関係性分析の新たな理論構築を目指すため、人文社会科学の諸分野（及び関連する自然科学）において、関係性分析の分野横断的、融合的視座を持つ新たな認識枠組みや分析視座を提示する研究、あるいはそのための理論、分析手法を構築する斬新かつ意欲的な研究（C04）を募集する。

本研究領域では、計画研究を横断的に遂行することを基本としており、下記のとおり複数の計画研究を軸にした新たな研究項目を設定しているため、既存の計画研究（A01-2、B01-3）に完全に合致した目的・計画である必要はない。なお、既存の各計画研究の内容については、領域Webページを参照されたい。

研究項目	応募上限額（単年度）	採択目安件数
C01 既存計画研究でカバーしていない地域（東アジア、南北アメリカ、ロシアとその周辺など）を中心とした、国家体制と社会運動（国家内およびトランスナショナルを含む）の関係性分析（A01、B02 横断）	300 万円	6 件
C02 地域統合体・協力協定（EU、ASEAN、FTAなど）の経済面、社会文化面、安全保障上の役割と諸国間関係の変化（A02、B03 横断）	300 万円	
C03 グローバルな人の移動、技術伝播、思想の伝播が関係の変動・連関・定着に与える影響（B01、B02、B03 横断）	300 万円	
C04 関係性分析の新たな認識枠組みや分析視座の提示、あるいは理論、分析手法構築の試み（全計画研究横断）	200 万円	4 件